

# 令和2年度 学校図書館基本計画(案)

足立区立西新井第二小学校 校長 吉川浩司

## 1 学校教育目標

- 進んで考える子
- 仲よく助け合う子
- 心と体をきたえる子
- 最後までやりぬく子

## 2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ①様々な取り組みを通して読書を楽しむ気持ちを育て、読書の習慣を身につける。
- ②学校図書館の環境を整え、本を大切に扱い学校図書館の利用の仕方を身につける。
- ③学校図書館の利用を通して、多様な資料から目的に応じた情報を選び、有効に活用する力を身につける。

## 3 学校図書館の現状 (昨年度末)

蔵書状況	① 蔵書数	8,866 冊 (蔵書基準冊数 8,358 冊) / 蔵書率 1.06%								
	② 新規購入図書	444 冊 / 廃棄図書 613 冊 / 増減冊数 -169 冊								
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3.59%	1.08%	6.61%	7.02%	15.10%	6.43%	2.84%	8.81%	7.23%	41.28%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	①	開館時間：授業時・月・火・木・金（昼休み）※雨の場合、中休みも開館								
	②	児童一人あたりの年間貸出冊数 23.2 冊（前々年度：20.08 冊）								
	③	1か月に2冊以上読む児童 50%								

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 易しい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。		
	② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。		
今年度の成果目標		達成基準	
①学校図書館を使う授業により、いろいろな本があることを知る。		①各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。	
②学校図書館の本から、自分の好きな絵本や読み物を探し、読書をする経験を重ねる。		②読書月間を利用して、月間一人あたり10冊以上の本を読む。	
③学校図書館のルールを知る。		③学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%	
第2学年	①いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。		
	②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。		
今年度の成果目標		達成基準	
①お話を楽しんで聞く姿勢を育てる。		①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。	
②自分の好きな絵本や読み物を探し、読書することができる。		③ 読書月間を利用して、月一人あたり10冊以上の本を読む。	
③図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に紹介し合えることができる。			
第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。		
	②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。		
今年度の成果目標		達成基準	
①いろいろな読み物に興味をもち、集中して読む力を育てる。		①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。	
②辞典や図鑑、百科事典などの使い方を知り、読み取ったり、感じたりしたことを発表し合えることができる。		②読書月間を利用して、月間一人あたり300ページ以上、読書する。	
③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。			

<b>第4学年</b>	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①疑問をもったときに図書館に行って調べる習慣をつける。 ②複数の本や新聞等から、読み取ったり、感じたりしたことをまとめ、発表し合えることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をすることができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書月間を利用して、月間一人あたり300ページ以上、読書する。
<b>第5学年</b>	① 目的をもって本を選び、読む力を育てる。 ② 積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①興味のある事柄について、適切な読み物を選び読書することができる。 ③ 複数の本から分かったことをまとめることができる。 ④ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	①各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書月間を利用して、月間一人あたり500ページ以上、読書する。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が50%以上
<b>第6学年</b>	② 目的をもって本を選び、読む力を育てる。 ③ 積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①興味のある事柄について、適切な読み物を選び読書することができる。 ②複数の本から分かったことをまとめ、考えを発表し合えるようにする。 ③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	①各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書月間を利用して、月間一人あたり500ページ以上、読書する。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が50%以上

## 5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

### 【蔵書・配架等に関すること】

- ①既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業を8月中に完了させる。
- ②学校図書館図を見直し、4月中に完成させる。
- ③廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。

### 【学校図書館支援員との連携・協働】

- ①学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク、読み聞かせ等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ②調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ③毎月1回、学校図書館支援員と打ち合わせを密にし、連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。

### 【その他】

- ①長期休業前には、貸出冊数を一人3冊まで可とする。
- ②週に1回、昼休みに図書室で読み聞かせをする。